ピョートル・ミツネル（ステファン・ヴィシンスキ枢機卿大学教授）講演と詩の夕べ

日時：2019年2月4日（月）15：00～17：00

講演タイトル：ポーランドの亡命ロシア（Русская эмиграция в Польше）

講演会場：早稲田大学・早稲田キャンパス3号館705号室

講演言語：ロシア語（通訳なし）、講演後に詩朗読あり（ポーランド語、訳あり）。

ポーランド・ロシア比較文化研究の第一人者・ピョートル・ミツネル教授（ステファン・ヴィシンスキ枢機卿大学、ワルシャワ）をお招きし、1917年以降のポーランドのロシア・ディアスポラについて、とくにフィロソフォフの組織した文芸サークルの活動を中心にお話しいただく。

講演者紹介

ピョートル・ミツネル（Piotr Mitzner, 1955-）

比較文学文化（とくに20世紀以降のポーランド・ロシア文学文化）、演劇評論、亡命ポーランドに関する論文・著書多数。亡命ポーランド系文芸誌「クルトゥラ」（1947-2000）アーカイヴ資料出版委員他。詩人としても著名で、国内外の受賞多数。最新詩集『標識』でワルシャワ文学賞受賞（2018）。